

第6号

春

2010年

編集・発行 千葉市動物公園ボランティア

千葉市動物公園の



★それぞれの動物がいる場所はウラの地図をご覧ください。

①ふっくらフクフク、  
「ふくちゃん」と呼びたくなる  
- カラフトフクロウ -

木の年輪のような模様（まよう）の大きな顔と、丸くふくらんだ体。ぬいぐるみのような可愛さですが、れっきとした猛禽類（まうじんるい）。肉食の鳥なので、エサは鶏頭（けいず）やマウスなどを与えています。カラフトだけでなく、ヨーロッパ、北米、アジアの、北極圏（きたきょくけん）に近い森に住んでいます。

園に来てから15年のオスと、新しく来た若いメスが2月から一緒に喜んでいます。当初から仲良く寄り添って、相性はバッチリ。たいてい高い所でじっとしていますが、見つけてくださいね。フクロウといえは夜行性のイメージですが、実際は昼夜を問わず活動します。当園の2羽も、鋭い目を開けてみなさんを見えていますよ。

②美しい姿に、似合わない声  
- フサホロホロチョウ -

フサホロホロチョウはとてもきれいな鳥です。首から胸にかけての黒と白の囊（ふくろ）のような長い羽根の模様、その奥に見える鮮やかなコバルト色の羽毛（うぶ）、そして腹から後ろにかけて広がる小紋（こもん）、このトータルファッションは品の良いおしゃれな感じがします。

野生では東アフリカの草原や森に住んでいて、長距離を飛ぶことはできません。たまに単高くキョ・キョ・キョーと鳴くことがありますが、これは警戒しているときです。家畜（けいしゆ）として飼われることもありますが、警戒心がとても強く、その声が耳障り（みみざわり）で、日本では普及していません。



★ふだんはジッとしている動物も、食事のときは活発に動きまわすし、何をどんなふうに食べるのか、意外な発見があるかも。「食事時間のお知らせ」の園内放送がきこえたら、行ってごらんになることをおすすめします。飼育係さんに質問できるチャンスもあります。

③長いシマシマのしっぽに思わず  
「風木くん...？」  
- アカハナグマ -



レッサーパンダと同じアライグマ科の仲間。赤っぽい毛色のハナグマという意味で、赤鼻（あかび）のクマではありません。南米の森林や草原に住んでいます。ここにいるのは2004年に当園で生まれた三つ子。オスのトラと、メスのサクラ（毛色濃い）、リリー（毛色明るい）が、午前午後オスメス交替で放飼場（ほうしじやうばう）に出ています。

前足の長いツメと長めの鼻先は、土の中の虫を探するのに便利だけど、木登りも得意で、果実も食べます。メスは木の上に作った巣で赤ちゃんを産むそうです。実は「旭山動物園物語」という映画に当園から出演している超大物！機会があったら映画の方も見てみてね。

④なんとかして絶滅から救いたい  
- グレビーシマウマ -

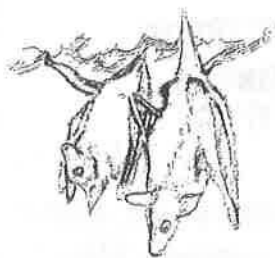
テレビや本で何度も見たはずの動物なのに、実際に会うと、吸い寄せられるように見入ってしまう… グレビーシマウマの美しさは不思議です。ピンと立ったタテガミまで続いているしま模様（しまよう）や、ふっくらしたおなかとお尻の曲線、ちょうどいい長さのシッポ。その毛皮の美しさゆえに乱獲（らんかく）されて、絶滅寸前まで追い込まれてしまいました。野生では、アフリカ東部に1500～2000頭しかいないと言われています。

世界に6種類いるシマウマの中でもっとも大きく、体重は340～400キロ。しま模様が細かいのも特徴です。タテガミ、しっぽ、鳴き声は、ウマよりロバに似ています。当園にはほかにハートマンヤマシマウマがいます。体格や模様をくらべてみてください。

★それぞれの動物が見られる場所は下の地図をご覧ください。

⑤くだもの大好き。血は吸いませぬ  
 - デマレルーセットオオコウモリ -

住んでいるのは、東南アジア熱帯のどうくつの中やマングローブの林。くだもの大好きで、動物園ではバナナ、リンゴ、オレンジなどを食べてます。大きな目をしたかわいい顔。いつも、さかさまにぶら下がってるけど、ウンチやオシッコをする時は、よこれないように頭を上にするきれい好き。そして、鳥のように飛べるのは、ほにゅう類ではコウモリだけというのが、一番のじまん。飛ぶ時にマントがうらがえらないように、ひざがうしろ向きについて



るので、よく見てたしかめてね。ごはんを食べにきた時が、じっくり見るチャンス。血をすうこわ〜いイメージを持ってた人もきっとファンになっちゃうはず。

⑥自然はふしぎ。  
 こんなにきれいな鳥がいるなんて。  
 - スミレコンゴウインコ -

くだものや花に囲まれた中南米の熱帯雨林に暮らすコンゴウインコは、大きくて力強いクチバシでかたい木の実や種を割って食べます。当園には6種類が飼育されていますが、中でもスミレコンゴウインコは頭とクチバシが大きく、眼には白目がなくてやさしい表情。全長約1メートルのうち、半分の50センチは尾羽です。つがいは通常一生添い遂げますが、当園の2羽も仲良しでお互いに羽づくろいをしていることが多く、目を細めて気持ち良さそうです。エサの植物を片足で握って食べたり、移動は足とクチバシを交互に使うなど、美しさだけでなく、足と口の器用な使い方も注目してください。

⑦人工哺育の世界記録更新中  
 - フタユビナマケモノ -

2008年8月生まれのフタユビナマケモノの子ども、タマチャンは、今まで2度の奇跡を起こしています。生まれて間もなく、親元から下に落ちてしまったのに、ケガなく無事に発見されたこと。そして一時危篤状態になりながらも奇跡的に回復したこと。もうこれは、この世に大きな使命を持って生まれてきた子といえるでしょう。

現在は、昼夜を問わずにお世話をしてくれた飼育係さんを親と慕い、ほかの人にはなかなか慣れないほどの信頼関係を築いています。ちゃんと人の判別もできているんですね。



いずれは他のナマケモノ達と一緒にバードホールで過ごす事になるタマチャン。うまく仲間入りして、一人前のナマケモノになるんだよ!

【しつもんコーナー】  
 オランウータンの爪は伸びないの?

Q. 人間の爪によく似たオランウータンの爪。きれいに切ってあるように見えるけれど、だれが切るの? それとも伸びないの?

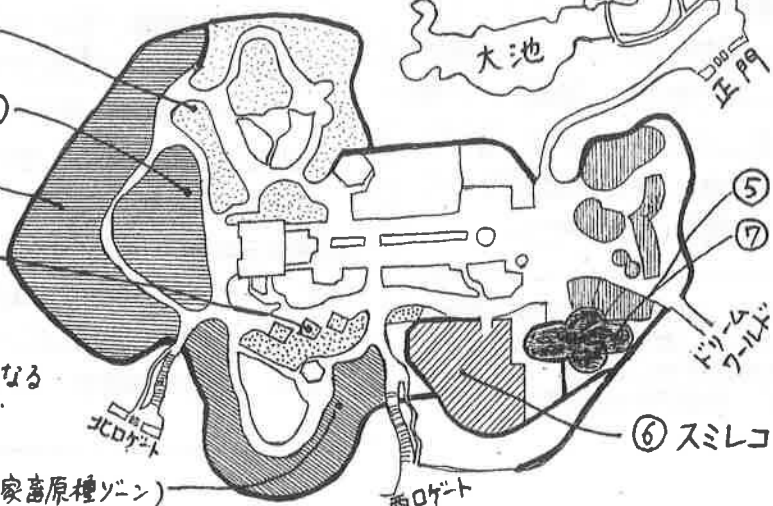
A. 人間の爪と同じようにちゃんと伸びています。でも、木に登るときなどに磨り減って、ちょうどいい長さになっているんですよ。同じ大型類人猿のチンパンジーは、自分で噛んで短くすることもあります。

大池は別世界のような静けさ。野鳥が見られます。

園内には約360本のソメイヨシノがあります。

正門を出て右手前方のアオダモが4月中旬に白い花を咲かせます。野球のバットに使われる木です。

- ①カラフトクワウ (鳥類・水系ゾーン)
- ②ケレヒシマウマ (草原ゾーン)
- ハートマンヤマシマウマはキリンと同じ所にいます
- ③アカハナクマ (小動物ゾーン)
- ソメイヨシノより一足早く咲くオオカンザウラ(モウコノウマ前)もみごとです。4月中旬に満開になる御衣黄(ゴイコウ)も珍しいのでお見逃しなく。(トナカイそば)
- ④フサホロホロチョウ (家畜原種ゾーン)



- ⑤デマレルーセットオオコウモリ
- ⑦フタユビナマケモノ (動物科学館)
- 遊園地の中の紅梅などもきれいです。(3月中旬見頃) 見においでください。
- ⑥スミレコンゴウインコ (子ども動物園)

第7号

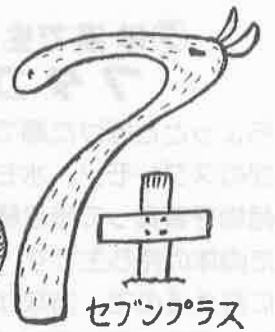
2010年

編集・発行 千葉市動物公園ボランティア

千葉市動物公園の

# 見どころ

ボランティアがえらんだ



セブンプラス

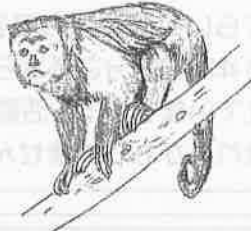
★それぞれの動物がいる場所はウラの地図をご覧ください。

## ①あれっ！どこかでお会いしましたよね？

### - フサオマキザル -

4月5日に、ぼくたちフサオマキザルの家族に赤ちゃんが産まれました。両親は南アメリカ産ですが、ぼくたち兄弟はみんな当園産まれ。大きくなると人に似てくるのか、お父さんを見てよく皆さんが「あの人に似ているね」「どこかで見た顔だ」と言っているのが聞こえます。

フサオマキザルは南米の森を中心に暮らし“南米のチンパンジー”とも呼ばれています。手先が器用で頭が良く、石で堅いナッツを割るなど道具を使うことでも有名。米国では“介助ザル”として訓練を受け、手足の不自由な人のために、冷蔵庫をあけて物を取ってきたり、顔を拭いてあげたり、人の役にたっています。

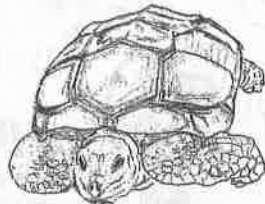


## ②ツルは千年、カメは万年って本当？

### - リクガメ -

子ども動物園には2種類のリクガメがいます。アルダブラソウガメとケツメリクガメです。ソウガメは200Kgにもなる大きな体を支える脚や皮膚の質感がソウに似ているところからソウガメと名付けられました。アルダブラソウガメの寿命は長く、180年位生きた記録があります。ソウガメは1ヶ月位食べなくても生きられるようで、それが災いして大航海時代以降には船乗りの食料として大量に捕獲され、20世紀には数が激減したそうです。

爬虫類のリクガメはゆったりとした時間を過ごしています。それが長生きの秘訣でしょうか？



★ふだんはジッとしている動物も、食事のときは活発に動きまわすし、何をどんなふう食べるのか、意外な発見があるかも。「食事時間のお知らせ」の園内放送がきこえたら、行ってごらんになることをおすすめします。飼育係さんに質問できるチャンスもあります。

## ③ヒツジが1匹、ヒツジが2匹・・・

### 眠れないときヒツジを数えるのはなぜ？

#### - ヒツジ -

紀元前 9000 年ごろから家畜として親しまれているヒツジ。子ども動物園では、コリテールという種類の3頭の雌に、直接触れ合うことができます。

ふかふかの羊毛は、中は真っ白。意外と脂っぽい感触です。やや硬くて粗い上毛に対し、下毛は柔らかくて、細く、縮れています。白い毛のヒツジは染色のしやすさから品種改良されたものです。人間の髪の毛と同様、ヒツジの毛は自然に生え換わりません。そこで毎年6月上旬に行われるヒツジの毛刈り教室。「シェアラー」と呼ばれるプロの毛刈り職人がバリカンで妙技を見せてくれます。ぜひご覧ください。

さて、上の質問の答えですが、英語でヒツジ(sheep)と睡眠(sleep)とをかけたダジャレから始まったという説が有力だそうです。

## ④ニューギニアの森の大きなハト

### - カンムリバト -

その名のとおり、頭にレースのような冠状の飾り羽をまとったカンムリバト。青灰色で肩と背に赤色、翼には白色の斑があり、眼珠の虹彩がオレンジ色に近い赤で、きれいです。全国の動物園でも数羽しかいない希少な鳥。外見からは雄雌の見分けはつきませんが、主に地上で生活して、飛ぶことはあまりないと言われますが、バードホールの右窓際の高い鉄骨の辺りがお気に入りのよう。タイミングが合えば眼前を飛ぶ雄姿が見られます。また、地上を歩く様子を間近で見たり、頭を下に向けて鳴くめずらしい声をきいたりするチャンスもあります。バードホールに足を運んでください。



★それぞれの動物が見られる場所は下の地図をご覧ください。

### ⑤ 砂漠で生き抜く機能満載

## — フタコブラクダ —

ちょっととぼけた顔ですが、フタコブラクダはなかなかのスグレモノ。水も食料もない砂漠や荒野を、重い荷物を背負って歩き続けられる、すごい機能をそなえた肉体の持ち主です。コブに貯えた脂肪をエネルギーに変えるので、おなかがあっても大丈夫。ポリウムたっぷりの長いまつげと、まぶたの内側のうすい膜が、砂やほこりから目を守ります。閉じられる鼻と、砂に埋まらない大きな足先。冬の寒さを防ぐ厚い毛は、夏にはすっかり抜け落ちます。

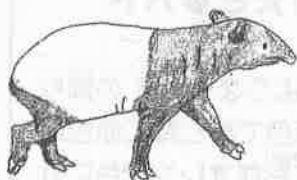
当園には、13歳のメスのヒロと、3歳のオスのトニーがいます。両方一緒に外に出すと、トニーがちょっかいを出すのを嫌ってヒロが座りっぱなしになるのが、目下の飼育係さんの悩みです。

### ⑥ 「ようこそ！サコちゃん」

## — マレーバク —

3月にマレーバクのサコ（咲子、2007年12月12日多摩動物園生まれ）が来園しました。性格はおとなしく、顔はやや幼いようなかわいい印象で、鼻が長めです。将来ユメタとの間に子どもができることを当園では願っています。（マレーバクは3頭おり、交代のために見られない場合があります）

野生のマレーバクはスマトラ島、マレー半島、インドシナ半島南部の森林や水辺のやぶ地に生活し、泳ぎも上手です。体は白黒ツートンで、上唇と一体化した鼻はよく動き、足の指は前足が4本・後足は3本になっています。足の裏はやわらかいのですが、皮膚は厚くて毛は短いです。主に夜間活動する習性のため日中はよく寝ています。



足の裏はやわらかいのですが、皮膚は厚くて毛は短いです。主に夜間活動する習性のため日中はよく寝ています。

### ⑦ 動かない。置物かな？

## — ハシビロコウ —

上野動物園と伊豆シャボテン公園、そして当園でしか飼育されていない珍しい鳥です。「なぜ動かないの？」…その理由はエサのとり方に。湖沼地帯でじっと動かず魚が水面に出てくる一瞬をまち、倒れこむようにしてとります。大きなクチバシでくわえて飲み込み、時間をかけてゆっくり消化します。

動かないといっても飛べない鳥ではありません。まばたきをしたり、羽を広げたり、あくびをしたりする姿を見ることもできますから、じっくり見てみてくださいね。年をとるにしたがって瞳の色が金色から青に変化します。当園の2羽のうち、1羽は高齢（18歳くらい）なので青い目、もう1羽（4歳くらい）は金色の目をしています。夕方4時30分ごろから生餌（鱒）を与えていますので、活動的な姿がご覧になれるかもしれません。



### 【しつもんコーナー】

#### 動物がケガをしていたら？

Q. ケガをしているように見える動物がいるよ。なおしてあげないの？

A. つかまえて治療することは、動物にとって大きなストレスになることがあるので、慎重に観察しています。とくに群れを作る動物は、隔離すると元気がなくなったり、元にもどすのがむずかしくなったりします。日常的な擦り傷や切り傷は、たいてい自然になおっています。

大池には深い緑の中に散歩道があります。野鳥を観察できるスポットもあり。アジサイ、スイレンもきれいです。

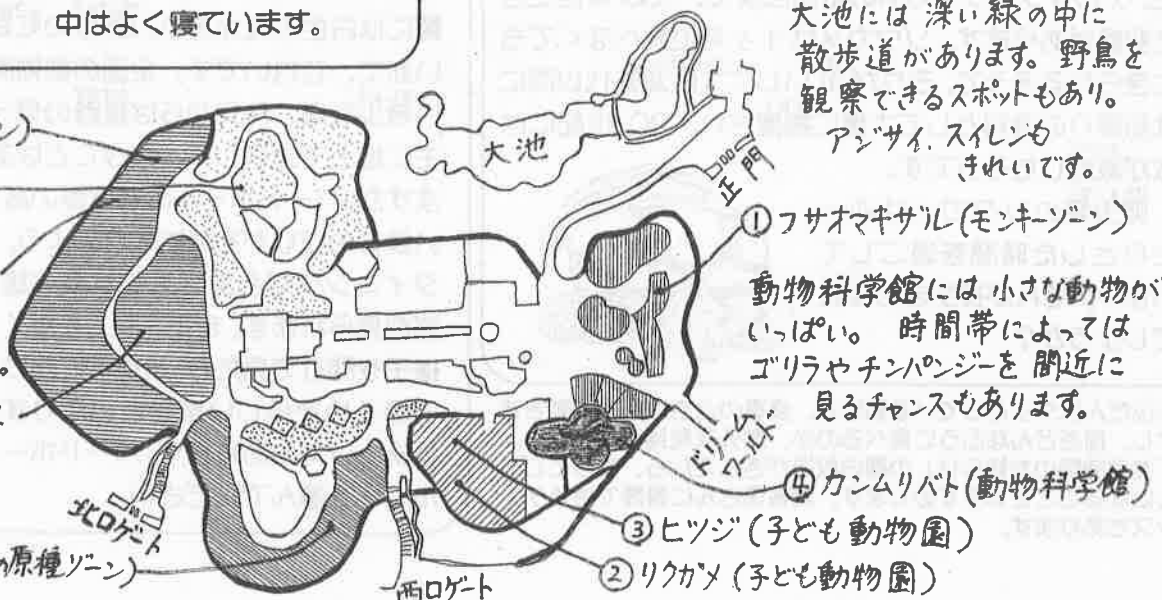
⑥ マレーバク (草原ゾーン)

⑦ ハシビロコウ (鳥類水系ゾーン)

オオカンガルーの赤ちゃんがおかあさんのおなかの袋から見えかくれています。

オスのダチョウは背中が黒くて堂々たる体格。背中が茶色いのはメスです。

⑤ フタコブラクダ (家畜の原種ゾーン)



① フサオマキサル (モンキーゾーン)

動物科学館には小さな動物がいっぱい。時間帯によってはゴリラやチンパンジーを間近に見るチャンスもあります。

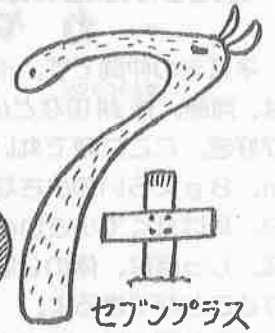
④ カンムリバト (動物科学館)

③ ヒツジ (子ども動物園)

② リクカメ (子ども動物園)

# 見どころ

ボランティアがえらんだ



セブンプラス

## ①谷が〜い尻尾をくると捲きつけて… - ジェフロイクモザル -

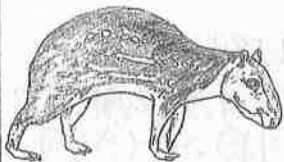
ぼくはジェフロイクモザルのオス、ライスだよ。仲間はメキシコ、ポリビア、ブラジルなどの森などに棲んでいるんだ。長い尻尾と細長い手足を曲げて樹木を移動する様子が何となくクモに似てるでしょ。

手は親指が退化、4本指しかないので、手をフックのように使い枝から枝へ移動。長い尻尾は先端の内側に毛がなく、感覚の鋭い皮膚がむき出しになっていて、物に巻きついたり、ぶら下がったり、物を握る、つまむなど器用に使えるんだ。

性格はおだやかで、好奇心が強い。主食は果物、一番好きな食べ物は煮たサツマイモだよ。器用に使いこなす、なが〜い尻尾の楽しい動きを見に来てね。

## ②名前からは想像できないの姿 - パカ -

僕たち2頭は、メキシコ南部から南米の熱帯雨林で暮らしています。ネズミの仲間ですが、体長60~70cmと体が大きいのが自慢です。目がクリッとして愛嬌があるでしょう。尻尾はとても短く、体全体に白いはっきりとした横縞があるので「ウリ坊（イノシシの子ども）みたい」とよく言われます。夜行性なので昼間は地面に掘った穴などでじっとしているけど、夜になると落ちた果物などを食べに出かけるよ。ここでは、リンゴ・サツマイモ・ニンジンなどを毎日食べています。とても神経質なので巣箱にはいったままのときもあるけど、11時ごろが食事時間なのでその頃を見計らって見に来てね。



★ふだんはジッとしている動物も、食事のときは活発に動きまわすし、何をどんなふう食べるのか、意外な発見があるかも。「食事時間のお知らせ」の園内放送がきこえたら、行ってごらんになることをおすすめします。飼育係さんに質問できるチャンスもあります。

★それぞれの動物がいる場所はウラの地図をご覧ください。

## ③金花獣？ いいえ、Kinkajou です - キンカジュ -

体重が2kgほどで、熱帯の森林の樹上に棲むアライグマの仲間です。胴体と同じくらいの長さのしっぽを木に巻きつけて体を支えます。サル以外で長い尾を木に巻きつけることができる哺乳類はキンカジュとビントロングだけです。

長い舌をシューッと伸ばして花の蜜をなめたり、エサを片手でしっかりつかんで器用に食べたりする姿が可愛らしいです。バナナ、りんご、オレンジなどの果実に加え、煮たサツマイモ・ニンジン、キャベツ、パン、ドライフードを食べています。11時前後の食事の時間には特に活発に動き回るので、おすすめですよ。オス4頭、メス2頭のキンカジュの家族の観察をじっくり楽しんでみてはいかがでしょうか。



## ④モームスのトイレはどこ？ - アジアスイギュウ（水牛） -

三日月形の大きな角をもつスイギュウ。野生のアジアスイギュウは、南アジア・東南アジアのごく限られた地域に生息し、絶滅の危機にあります。水辺に群れで生活し、気性の荒い動物とされています。一方、家畜のアジアスイギュウは、世界各地で飼育され、乳はバターやチーズに、角は印鑑などに利用されます。また、泥の中に足が深く沈まないよう幅広いヒツメをしており、沼地での活動に適しているため、水田の荷物運びなどの労働力として役に立つ動物です。

当園のモームス（10歳、メス）は、おとなしく、角研ぎが大好き。柵にこすりつけるので、角に入っているしわがなくなり、ツルツルに…。暑いときに池で水浴びをするほか、うんちも池でしています。



⑤丸まった枯れ草は鳥の巣？

- カヤネズミ -

ネズミの仲間です。千葉市にも棲んでいるよ。住みかは、河原、休耕田などのススキ、カヤの生えている草原が好き。ここに草で丸い巣を作っているんだ。体長5cm、8gくらいの小さな体。色は、茶色の背中に、腹は白。耳は丸くて小さいので、よく見ないとわからないかな。しっぽは、体の2倍くらいあって、先を草に巻きつけることができるよ。

動物公園では一番小さい哺乳類なんだ。寿命は1~2年で、春と秋に子どもが4~5匹生まれるよ。



今は、子ども動物園のセンターで、オス1匹の小さい丸まった姿がみられます。園ではアワ、ヒエなどの小鳥用のエサと、小さな虫や野菜などをもらっているよ。天敵はフクロウやヘビ。でも、最大の天敵は人間かな、草原の草を刈り取られてしまうからね。

⑥森が 隠 らない野生には戻れない！絶滅寸前の鳥  
- コサンケイ -

ベトナム南部のアンナン山脈北部のみに生息するキジ科の固有種で、ワシントン条約附属書I表に該当し、商業取引は禁止、かつ国際自然保護連合(IUCN)のレッドデータでは「絶滅危惧種」とされています。この鳥には人間によって何度も生息地を奪われてきた50年の歴史があります。まず1960年代のベトナム戦争で枯葉作戦という大規模な農薬散布の結果、森林が大きな被害を受けました。その後も農地の開拓や木材を得るために森林が伐採され、1994年の調査では1000羽以下しか残っていないと発表されました。オスは全身が鮮やかで光沢のある群青色の羽根で覆われ、顔面と脚は赤く、頭の冠毛は白色をしています。メスは、羽根が茶褐色、冠毛はありません。



オスは全身が鮮やかで光沢のある群青色の羽根で覆われ、顔面と脚は赤く、頭の冠毛は白色をしています。メスは、羽根が茶褐色、冠毛はありません。

⑦おなかにポケットがあるのはメスだけ

- オオカンガルー -

「あれ？なんか小さいね」そんな会話が聞こえてきます。オオカンガルーという名前だけど、一番大きいアカカンガルーに比べるとちょっと小柄です。メスのおなかにある袋は育児のうと言って、中にはオッパイが4こ。赤ちゃんは体長2cmで生まれてすぐ自力で袋まではい上がり、オッパイをくわえたまま大きくなります。5ヵ月位たって袋から顔を出した時がお誕生日。



当園には、お母さんナミ(12才)、お兄ちゃんヒビキ(2才)、今年4月に生まれた弟ミライの3頭がいます。ミライは袋の外にいたことが多くなってきたけど、遅が良ければ袋に入るところや、頭だけ袋につっこんでオッパイを飲んでるところが見られるかもしれませんよ。

【しつもんコーナー】

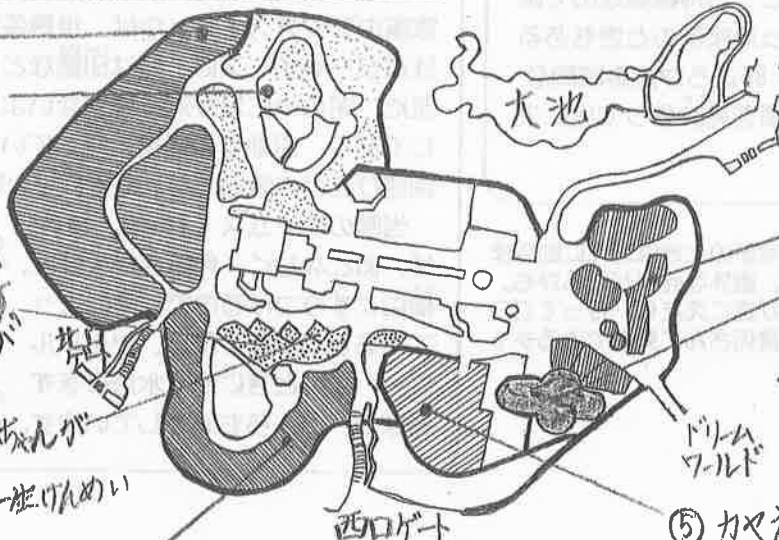
柵がなくても逃げない？

- Q. フクロテナガザルとワオキツネザルには柵がないよ。逃げないの？
- A. 池が柵の代わりになっています。フクロテナガザルは泳ぐことができません。ワオキツネザルも、泳ぎは苦手。でも、冬に池が凍ると渡れてしまうので、飼育係さんがいそいで氷を割ります。

★それぞれの動物が見られる場所は下の地図をご覧ください。

- ①ジェフロイクモザル (モンキーゾーン)
- ②パカ (動物科学館)
- ③キンカジュー (動物科学館)
- ④アジアスイギュー (家畜の原種ゾーン)
- ⑤カヤネズミ (子ども動物園)
- ⑥コサンケイ (鳥類・水系ゾーン)
- ⑦オオカンガルー (草原ゾーン)

⑦オオカンガルー  
⑥コサンケイ



大池は別世界のよう静けです。野鳥観察やドングリ拾いができます。

- ①ジェフロイクモザル
- ②パカ・③キンカジュー

動物科学館1階に夜行性動物がいます。月明かりの夜道を散歩する感覚を味わってみてください。

レッサーパンダの双子の赤ちゃんが屋内展示場でゴザンにおられます。ちやうどかわいい姿が見られます。

7月にコツメカワウソの赤ちゃんが4頭生まれました。お父さん、お母さんが一生けんめい子育てしています。

④アジアスイギュー

⑤カヤネズミ

# 第9号 冬 2010年

編集・発行 千葉市動物公園ボランティア

## 千葉市動物公園の

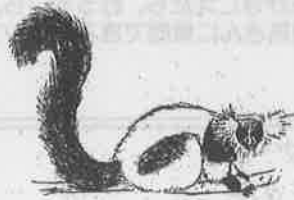


### ①ただ今、お見合い中！

#### - エリマキキツネザル -

顔のまわりに生えているフワフワ長い白い毛が、とっても暖かそう。エリマキのようだ、この名前がつきました。マダガスカル島東部の森林にいますが、絶滅が心配されるくらい数が減っています。

当園ではメスのライル6才と9月にサンシャイン国際水族館からやってきたばかりのオスのアル7才が、11月からお見合い中。ライルはとても気が強いので、アルと仲良くなれるように応援してね。2頭の見分け方は、シッポが細くて短くちょっとボサボサしているのがライル。鼻の穴の上に黒豆みたいなコブが、ふたつあるのがアル。夕方3時半頃、ごはんの用意してある屋内展示室に入った時がわかりやすいですよ。ついでに何が好物なのかも当ててみてね。



ライル。鼻の穴の上に黒豆みたいなコブが、ふたつあるのがアル。夕方3時半頃、ごはんの用意してある屋内展示室に入った時がわかりやすいですよ。

★それぞれの動物がいる場所はウラの地図をご覧ください。

### ③さあ！ほくたち4匹見つけられるかな？

#### - フタユビナマケモノ -

ほくたちナマケモノは動物科学館のバードホールの樹上で暮らしているんだ！いつも木の枝にもたれ、ぶら下がり、寝ているか休んでいる。行動は夜行性。地上に降りるのは5~7日に一度トイレをする時だけだよ。木の葉陰にいるので見つけにくい、君は4匹全部見つけられるかな？秘訣は午後、熱帯雨林と同様スコールが降るよ。その時が来れば葉陰から移動するほくたちの姿が見られるかも！ほくたちはあまり動かないし、動作もスローだからナマケモノと名づけられてしまったが、今や低エネルギー消費のほくたちのライフスタイルは正にスローライフの実践者、時代の先端をゆっくり歩んでいるんだ！是非バードホールでほくたちを見つけてね！



### ②小さな名ジャンパー！

#### アニメの「マーフィー」を覚えてますか？

#### - ショウガラゴ -

18年前にフジテレビ「世界名作劇場」で放映された『大草原の小さな天使 ブッシュベイビー』の主人公でした。ブッシュベイビーという別名のほうが、愛らしい容姿や、チッチとかクックといった、赤ちゃんが甘えているような鳴き声を良く表現しています。アフリカ乾燥林に分布するリス科に属する夜行性のお猿さんで、光を反射する大きな目と鋭い聴覚の持ち主です。

夜行性動物舎は昼夜逆転させているため、活発に動き回る時間帯に注意が必要です。夜になる開園直後と昼になる4時以降が、ショウガラゴのゴールデンタイムのようです。ビックリするのはジャンプ力。2m以上跳び上がります。人間に置き換えると25mプールをひとつ跳びするイメージです。



### ④早寝早起き、シャイな日本産

#### - ニホンリス -

日本の本州、四国に生息し、ホンドリスとも呼ばれています。体長18~22cm位。赤みがかかった灰色の夏毛は、冬になると灰色になります。朝、日の出とともに活動を始め、開園する頃には、もう巣の中で丸まって寝ています。そのため、展示場に出ているのをほとんど見ることがありません。唯一、姿を見られそうな時間帯は、食事時間の11時から1時間。内気で、餌をあげても、すぐには出てきませんが、運良く会えたら、尻尾でバランスを取りジャンプする様子や、180度回転する後ろ足首に注目して下さい。また、展示場の金網上方に頭骨が展示されています。好物のクルミの実とほぼ同じ位の小さなサイズ。だから、せまい所も、するりと通り抜けるのですね。



### ⑤あざやかな色の秘密

## - フラミンゴ -

フラミンゴと聞いたときみなさんは何を思い浮かべますか？「長い首」「ピンク色」「1本足で立っている」…色々あるかもしれませんがね。

フラミンゴの体は薄いピンク色から濃いピンク・赤色をしています。よく見るとくちばしの一部や羽に黒い部分もあります。鮮やかな羽の色の秘密はえさに含まれるβカロチンによるものです。(えさは野生では小さな甲殻類・植物性プランクトン・藻類、当園ではフラミンゴペレットとオキアミです)

フラミンゴはえさをとるとき頭を下げ、曲がったくちばしを水中でさらうように動かし、くちばしの縁のくしのようなになったところで水をこして食べますので観察してみてくださいね。池の前の看板では1本足の秘密もわかりますよ！



### ⑦え？！ヘビ食べちゃうの？！

## - ヘビクイワシ -

ぼくたちはヘビも食べるし、そのほかにもバッタなどの昆虫やネズミ、鳥の卵なども食べるんだよ。食べるときは長い足で獲物をつかんで地面にたたきつけて弱らせ、動かなくなってから丸飲みします。アフリカのサバンナに住んでいて、飛ぶこともできるけど地上を歩き回ることが多いんだ。動物公園へ来てもう20年以上。仲よし夫婦でぼくたちの仲間は、ペアは一生離れないと言われているよ。日本ではヘビクイワシと呼ばれているけど、英名では「セクレタリーバード」(書記官鳥)と、カッコいい名前です。頭についている黒くてとても立派な冠羽が書記用の羽根ペンを連想させることからきているんだ。ぜひぼくたちの自慢の羽を見に来てね！



★ふだんはジッとしている動物も、食事のときは活発に動きまわし、何をどんなふう食べるのか、意外な発見があるかも。「食事時間のお知らせ」の園内放送がきこえたら、行ってごらんになることをおすすめします。飼育係さんに質問できるチャンスもあります。

### ⑥愛の告白は鶴の舞で…

## - タンチョウ -

純白の身体に頭頂が赤く、黒い羽のコントラストが美しい特別天然記念物のタンチョウ。鶴の舞や鳴き交わすことで愛情表現や絆の確認をします。グアッグアッ？アッアッ？とあの優雅さとはミスマッチのような大声ですが、皆さんにはどのように聞こえるでしょうか？一度つがいになるとその関係は一生続くと言われます。園のつがいもタイミングが合えば求愛のディスプレイが見られるかもしれません。餌は、ゆで卵やワカサギ、食パン、小松菜、ツルのペレットを与えています。カラスに横取りされないように手製の長い餌箱を取り付けています。イソップの「狐と鶴のご馳走」を思い出しますね。長い嘴を入れて食べる姿もウォッチングのポイントです。

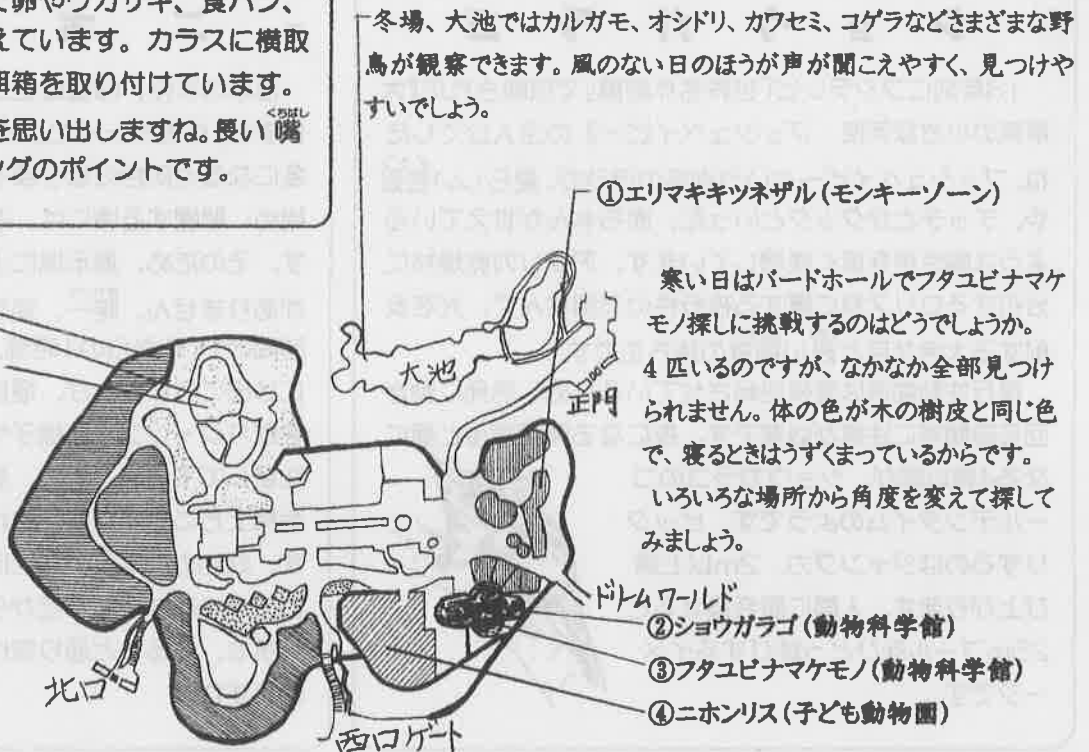
### 【しつもんコーナー】

#### キリンって鳴くの？

- Q. いつも静かに見えるキリンだけど、鳴くこともあるの？
- A. 鳴きます。ただしこどもの頃だけです。鳴き声はウシ科の動物だけあって「モー」です。

- ⑥フラミンゴ(草原ゾーン)
- ⑧タンチョウ(鳥類・水系ゾーン)
- ⑦ヘビクイワシ(鳥類・水系ゾーン)

以前のタンチョウ展示場を新しい水禽池に改造した関係で、タンチョウ展示場が狭くなりましたが、以前より近くでご覧いただけるようになりました。

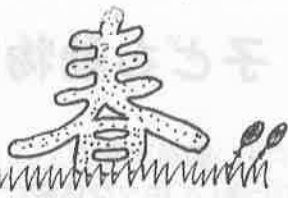




第10号

2011年

千葉市動物公園の



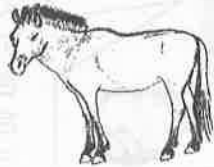
ボランティアがえらんに

セブンプラス

★それぞれの動物がいる場所はウラの地図をご覧ください。

### ① 地球上で生きている唯一の野生馬 — モウコノウマ(蒙古野馬) —

モンゴル・アルタイ山脈地方の草原に生息する野生のウマです。絶滅したと考えられていますが、動物園で飼育されていた為、種としての絶滅を免れました。1992年より、モンゴルに保護区を作り、飼育下のモウコノウマを、野生復帰させていますが、未だ、絶滅の危機にあります。家畜馬に比べ小型ですが、首が太く、足が短く、がっしりとしています。たてがみは、立っていて、背中に一本の濃い色の線があります。当園には、オスのトメキチ(20才)とメスのクリス(11才)がいます。放飼場で、仲良く連れ添う光景をよく目にしますが、食事時は、クリスが、餌を独り占めしようとトメキチを蹴飛ばすとか。トメキチは大人しく、その場を少し離れて行くそうです。



### ② リスじゃないよ、サルの仲間 — スローリス —

名前にリスとつきますが、ロリス科というサルの仲間。ほとんど木の上で生活しています。夜行性で暗い中でも光を取り込むために、とても大きな目をしています。



びっくりするくらいゆっくり動くので、癒し系の雰囲気たっぷり。でも、じつは奥歯に毒ヘビのヤマカガシと同等の毒を持っています。子どもを置いて移動するときは、毒を含んだ唾液を塗って外敵から子どもを守ります。バッタやコオロギを食べますが甘いものも大好きで、オレンジやバナナが大好物。手で持って食べる姿が可愛らしいです。動物公園では1日1回、午前10時30分～11時にエサの時間があります。このときは間近に見られるチャンス。キュートな姿をぜひ見に来て下さいね!

★ふだんはジッとしている動物も、食事のときは活発に動きますし、何をどんなふう食べるのか、意外な発見があるかも。「食事時間のお知らせ」の園内放送がきこえたら行ってごらんになることをおすすめします。飼育係さんに質問できるチャンスもあります。

### ③ ソウさん、ソウさん、長いお鼻はなんのため? — アジアゾウ —

わたしは穏やかな性格で皆さんから愛されているアジアゾウの“アイちゃん”です。今日は長い鼻についてお話ししましょう。

ゾウは陸上では世界一大きな動物で、その鼻は上唇と一体化したものです。骨がなく全てがやわらかい筋肉組織でできているから、柔軟に器用に動かせるのよ。

長い草を食べるときは、鼻で器用に折りたたみ、丸めて口に運びます。鼻の先でピーナッツや大豆もつかめるのよ。水は、いったん鼻で吸い込んでから口に運ぶの。

水浴び・砂浴びに使うほか、鼻で触れあって親子や仲間とのコミュニケーションにも使います。鼻を上げて、うんと遠くのおいをかくこともできるのよ。アイちゃんの長いお鼻をゆっくり見ていってね!



### ④ サル山の中心は 母から娘へ — ニホンザル —



正門から坂を上って最初に見えるのがサル山。ここのニホンザルは大阪府箕面市に生息していた野生の一群です。長老のメスザル、

ネムが子ども・孫・ひ孫の大家族をつくり、別家系を合わせ34頭が同居。以前は第一順位とよばれるオスが君臨するといわれましたが、基本的にはメス中心の母系社会です。ネムは推定30歳と高齢なので、娘のネナシグサが統率しています。

30種類ほどの鳴き声を使い分け、森の中でも互いに連絡し合うとのこと。たしかに、エサのおねだりの声と取り合いの声は対照的です。あまりに大声のときは飼育係さんが駆けつけ、ケガがないか見るそうです。さて、34頭の名前には共通のテーマが。それは何でしょう?

上記のほかにミズバショウ、ノギク、レモン、ネコヤナギ、などと付けられています。

# 動物たちがすぐそこに… 《特集》 子ども動物園

子どもたちが動物と直接ふれ合うことのできるような、親しみやすい動物を展示しています。おとなの方も子どもたちと一緒に、動物を間近かで見たり直接ふれたりしながら楽しく色々な体験ができます。ただし、急にさわると動物たちもびっくりしますので、やさしく声かけてそっとふれてあげてください。

《おすすめタイム》動物が食事をしている様子はおもしろいですよ。食事タイムをチェックしてみてください。

「コンタクトコーナー」や「ヤギとヒツジの広場」は休憩タイムがあるので注意！

## ＜子ども牧場舎＞

ウマ・ウシ・ロバ・ブタといった親しみのある家畜たちがいます。3頭のウマの大きさを比べてみると家畜としての役割がわかります。さてそれは？



## ＜インコとゾウガメの森＞

インコの王様 6種類の鮮やかなコンゴウインコ。足と口の器用な使い方に注目！足元には大きな身体のアルダブラゾウガメ・ケヅメリクガメがゆったりと過ごしています。



ネズミの仲間が一番大きいカピバラ。水中を飛ぶように泳ぐフンボルトペンギンは、すばやいたーンが見もの。南米の沿岸地域に住む、夏に強いペンギンです。地面の穴でくらすプレーリードッグと、木の上のリスは、じつは同じ仲間。でも、シッポがずいぶんちがうよ、なんでかな？



## ＜コンタクト・コーナー＞

テンジクネズミやハツカネズミとふれ合いが出来ます。食事タイムにはベルの合図での一列行進も見所。個性的なテンジクネズミ、プロフィールの似顔絵で名前当てもたのしいよ。



## ＜ヤギとヒツジの広場＞

フェンスの中で放し飼いにされたヤギやヒツジにタッチ！ヒツジの毛の感触やヤギとヒツジの違いなど間近かでじっくり観察できます。ブラッシングもしてあげてね。



## ＜飼育センター＞

丸太小屋のような家の中には、イモリやドジョウ、カヤネズミなど、身近な生き物がいます。クイズなどもあるので、入ってみてね。

動物にさわったあとは手を洗ってね！

## 千葉市動物公園 見取り図

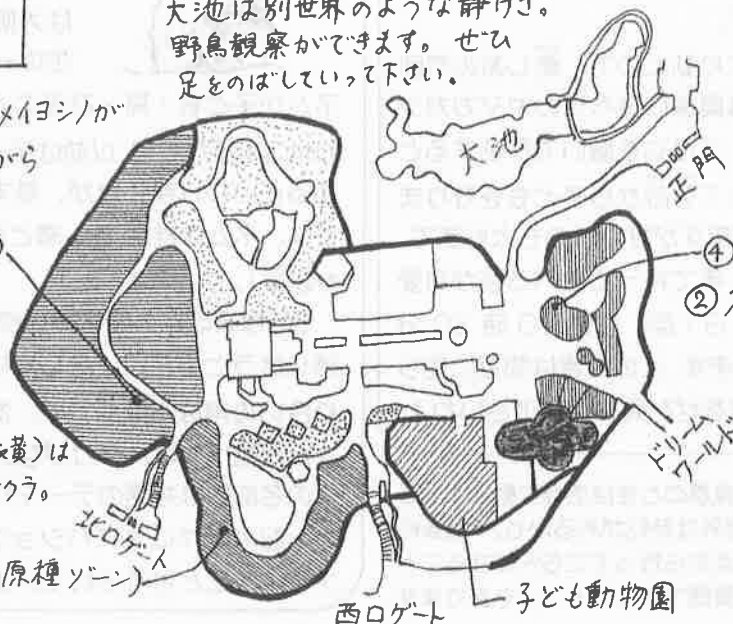
園内には約360本のソメイヨシノがあります。動物を見ながらお花見もどうぞ。

### ③ アジアゾウ (草原ゾーン)

モウコノウマ前の小さい木はオオカンザクラ。ソメイヨシノより一足早く見事な花を咲かせます。トナカイそばのギョイコウ (御衣黄) は緑色の花を咲かせる珍しいサクラ。4月中旬が見頃です。

### ① モウコノウマ (家畜原種ゾーン)

大池は別世界のような静けさ。野鳥観察ができます。ぜひ足をのびして行って下さい。



正門を出て右手前方の、4月中旬に白い花を咲かせる木はアオタモです。

野球のバットに使われる木として有名ですね。

### ④ ニホンザル (モンキーゾーン) ② スローロリス (動物科学館1F)

アオダイショウがいるのは子ども動物園だけではありません。その辺を移動したら踏まないで？この住民です。